

こんにちは！薬剤部です！

薬剤部では処方されたお薬について、最適な薬剤が選択され、正しく使用されているか、期待通りの治療効果が得られているか、あるいは副作用が出ていないかなどを確認しています。



みなさまが安心して薬を使用でき、一日も早く治療が進められるよう、薬剤部では、次のような業務を行っています。

〈薬務科〉

薬務科では、注射薬を医師の指示（注射せん）に従い、患者さんごとに分けて、病棟等に払い出しています。

処方された注射薬は電子カルテなどを用いて投与量・投与方法・投与速度・配合変化などの確認を行います。



注射薬の管理業務

当院には抗がん剤が多くあるため、使用量等の管理には細心の注意を払っています。



品名 スニアラン「マロコ」 単位				
年月日	病棟	受取	私	現在高
15.6.24	外	2		15
20	入		2	63
20	6F		1	61
20	9W		1	60
20	入		1	57
20	入		4	57
21	9W		2	55
21	9W		1	54
21	9W		2	52
21	入		2	50
21	入		2	48
22	入		3	45
22	入		8	37
22	外		1	36
22	外		1	35
22	外		1	34
22	外		1	33
22	外		1	32
22	外		1	31
22	外		1	30
22	外		1	29
22	外		1	28
22	外		1	27

品名 カルボプラチン 単位				
年月日	病棟	受取	私	現在高
15.6.20	外	2		22
21	外		2	20
21	4W		1	19
21	入	30		49
21	外		1	48
21	入		1	47
21	入		2	45
22	入		1	44
22	外		1	43

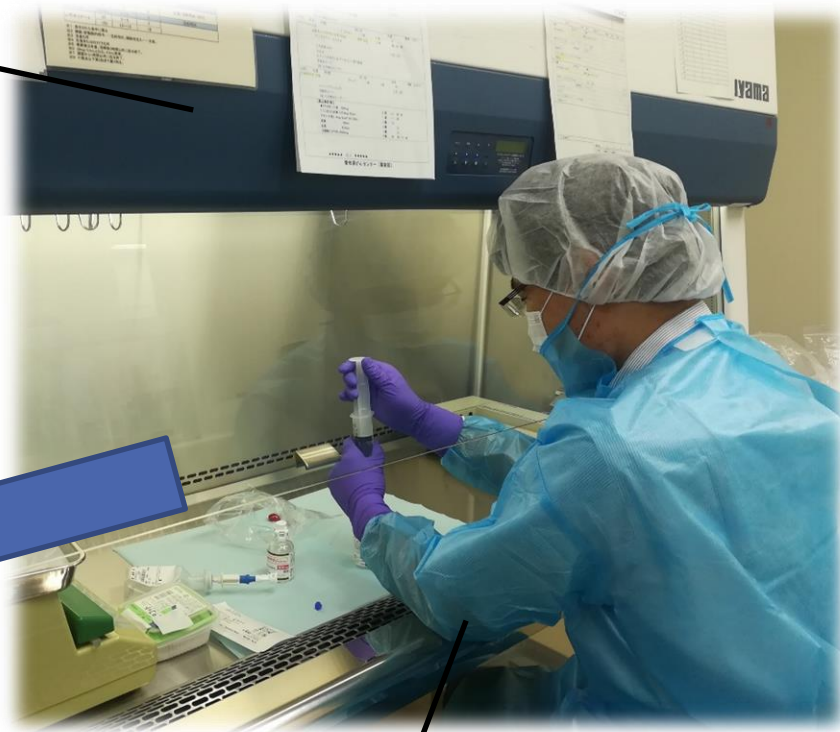
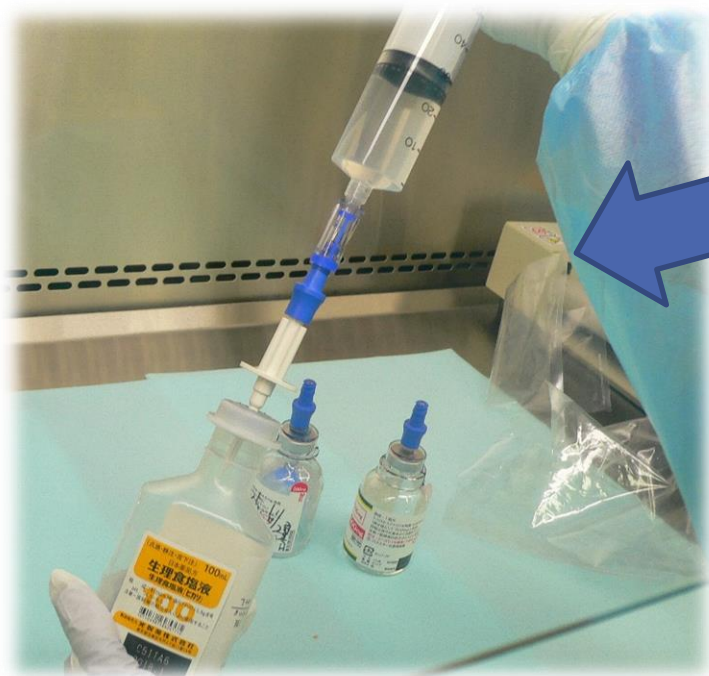
品名 パクリタキセル 単位				
年月日	病棟	受取	私	現在高
15.6.20	外			100
20	外		1	100
20	外		1	100
20	外		1	100
21	外		3	103
21	外		2	105
21	外		1	106
21	外		1	107
21	外		1	108
21	外		1	109
21	外		1	110
21	外		1	111
21	外		1	112
21	外		1	113
21	外		1	114
21	外		1	115
21	外		1	116
21	外		1	117
21	外		1	118
21	外		1	119
21	外		1	120
21	外		1	121
21	外		1	122
21	外		1	123
21	外		1	124
21	外		1	125
21	外		1	126
21	外		1	127
21	外		1	128
21	外		1	129
21	外		1	130
21	外		1	131
21	外		1	132
21	外		1	133
21	外		1	134
21	外		1	135
21	外		1	136
21	外		1	137
21	外		1	138
21	外		1	139
21	外		1	140
21	外		1	141
21	外		1	142
21	外		1	143
21	外		1	144
21	外		1	145
21	外		1	146
21	外		1	147
21	外		1	148
21	外		1	149
21	外		1	150
21	外		1	151
21	外		1	152
21	外		1	153
21	外		1	154
21	外		1	155
21	外		1	156
21	外		1	157
21	外		1	158
21	外		1	159
21	外		1	160
21	外		1	161
21	外		1	162
21	外		1	163
21	外		1	164
21	外		1	165
21	外		1	166
21	外		1	167
21	外		1	168
21	外		1	169
21	外		1	170
21	外		1	171
21	外		1	172
21	外		1	173
21	外		1	174
21	外		1	175
21	外		1	176
21	外		1	177
21	外		1	178
21	外		1	179
21	外		1	180
21	外		1	181
21	外		1	182
21	外		1	183
21	外		1	184
21	外		1	185
21	外		1	186
21	外		1	187
21	外		1	188
21	外		1	189
21	外		1	190
21	外		1	191
21	外		1	192
21	外		1	193
21	外		1	194
21	外		1	195
21	外		1	196
21	外		1	197
21	外		1	198
21	外		1	199
21	外		1	200

一部の抗がん剤は日付、病棟、個数、残数を管理しています。

抗がん剤の調製業務

がん化学療法のための注射剤を安全キャビネットの中で調製しています。

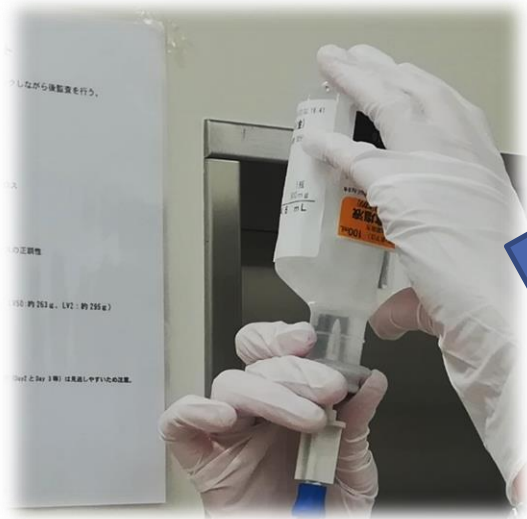
安全キャビネット
抗がん剤が空気中に
漏れることを防ぐ装置



抗がん剤調製の際はキャップ、
ガウン、マスク、ゴーグル、手袋
を着用して行っています。

抗がん剤の調製業務

安全キャビネットの中で調製された注射剤が正しく調製されているか確認して、外来化療センターや病棟へ払い出します。



ボトルの中に**溶け残り**や**異物の混入**などが**ないか目視で確認**しています。

DI業務(医薬品情報管理)

DI室では薬の最新情報の収集と提供に努めています。
薬の専門家として薬の効果と副作用を評価し、医師・看護師
その他の医療従事者、そして患者に情報提供することで、
より良い薬物療法の向上につなげ、医療の質の向上と安全管理に努めています。

医療安全情報

医薬品・医療機器に関連する医療安全対策

医薬品や医療機器の医療事故防止のための様々な対策に関する情報や厚生対策に関連する通知等を掲載しています。

PMDA医療安全情報

これまでに収集されたヒヤリ・ハット事例や副作用・不具合報告の中から、同様の事例若しくは添付文書改訂等を通知した事例などについて、PMDAが専門事者に対して安全に使用するために注意すべき点等を図解等を用いてわかりやすく作成した「PMDA医療安全情報」を掲載しています。



医薬品情報の収集



院内へのアナウンス

薬に関する問い合わせ

薬剤管理指導業務

薬剤師は調剤を行うだけでなく、外来や入院中の患者さんに対し、薬の効果や正しい使い方、主な副作用などの説明を行っています。また薬が投与された後も、副作用や飲み合わせの確認を行い、安全な薬物療法を提供できるように努めています。

主な業務

- ・薬の説明
(抗がん剤や医療用麻薬などの服用方法や主な副作用について)
- ・薬の副作用確認
- ・副作用に対する支持薬の提案
- ・処方された薬の確認
- ・医療従事者に対する情報提供



薬の説明



処方された薬の確認

〈調剤科〉

調剤科では主に入院患者さんへの内服・外用薬の調剤を行います。

処方箋が発行されると、薬剤師が薬の量や服用方法に問題がないか、注意すべき相互作用がないかを確認し、必要に応じて医師に問い合わせを行います。



がんの痛みなどに使用する医療用麻薬も数多く扱っており、特に厳重に管理しています。

治療に用いる抗がん薬のみならず、副作用対策の薬(吐き気止め、口内炎治療薬など)も多く取り扱います。

常用薬調査

当院では、主に初めて受診される方を対象に、「常用薬調査」を行っています。

他の病院から処方され服用している薬について、薬剤師がお薬手帳などを用いて確認を行います。

手術や処置、検査の内容によっては、

- ・抗血栓薬（血液を固まりにくくする薬）
- ・ビグアナイド系薬剤（糖尿病治療薬の一種）

を服用していないかの確認が必要となる場合があります。手術や処置、検査を安全に受けていただくためですので、ご協力をお願いします。



治験薬等管理業務

当院では開発中の薬の効果や安全性を調べるために、数多くの治験(ちけん)が行われています。

Q 治験とは?

薬の候補を用いて、国の承認を得るための成績を集める臨床試験を治験といいます。

病院で使われている薬やみなさんが普段使っている薬は、治験を経て、効き目と安全性が確認され、国の承認を取得して製造・販売されています。



〈指導科〉

指導科では病棟での業務を主として
います。

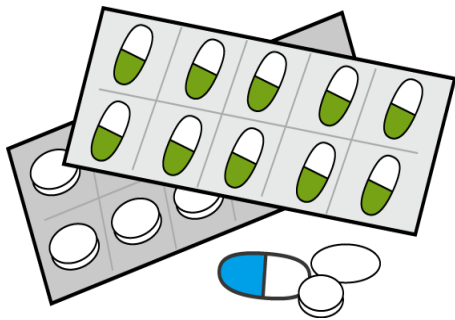
病棟で医師や看護師などの医療
スタッフと連携をとり、医療の質の向
上のために様々な取り組みを行って
おります。



持参薬の確認

入院の際にお預かりしたお薬（持参薬）やお薬手帳、サプリメントなどを確認しています。

手術前の中止薬や相互作用などを確認し、内容をカルテに記載して、医師や看護師とも情報共有をしています。

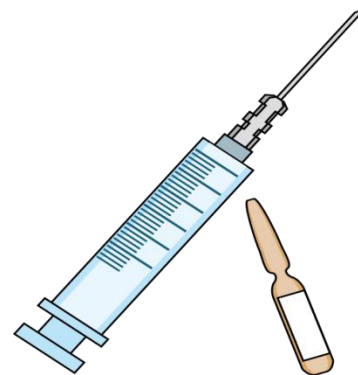
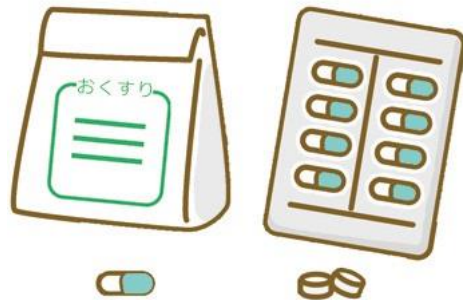


医薬品の投薬・注射状況の把握

入院患者さんの飲み薬（内服薬）や注射薬の状況確認をしています。

主な確認内容

お薬の重複がないか
処方されたお薬に相互作用がないか
不適切な処方がないか（用法や用量）などです。



医療スタッフへの助言や相談応需

病棟では医師や看護師などの医療スタッフから薬に関する相談を受けることがあります。

薬学的視点から助言をして、安全な薬物療法を提供できるように努めています。

主な相談内容

注射薬の配合の変化や持参薬が病院で扱っていない場合で他に代わりとなるお薬（代替薬）の確認、お薬の相互作用や量についてなど、様々です。



副作用モニタリング

抗がん剤を用いた治療を行うと様々な副作用を伴う場合があります。副作用の発現状況の確認を行うとともに、必要あれば医師へ処方提案をしています。



副作用の症状がでたり、または「ふだんと違う、おかしいな？」と思った時はすぐに医療スタッフにお知らせください。

医薬品管理業務

病棟の救急カートと定数薬の数量、使用期限や医療用麻薬の管理をしています。



流量・投与量計算

特に安全管理が必要な薬剤の使用にあたっては、薬剤の流量や投与量の計算等の確認をしています。
例) カリウム製剤、医療用麻薬など



病棟カンファレンス

他の医療スタッフと個々の患者さんに関する情報共有を行ったり、困っていることなどを話し合っています。

また、治療方針の決定にも関わったり、病棟で薬剤に関する勉強会を行うなど**チーム医療**に貢献しています。



チーム医療への参加



Q チーム医療とは？

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士などの様々な医療スタッフがチームを組み、それぞれの専門性を生かして情報を交換し、患者さんにより良い治療を提供する取り組みです。

当院ではがん化学療法チーム、緩和ケアチーム、院内感染対策チーム、栄養サポートチームなどが活動しています。薬剤師は薬の専門職としてチームに参加し、患者さんへより安全で効果的な薬物療法を提供するように努めています。

薬のことでお困りのことがありましたら

薬局窓口へお越しいただくか

愛知県がんセンター中央病院(052-762-6111)

より薬剤部までお電話ください！

